

全国肺癌登録調査：2010 年肺癌手術症例に対する登録研究について

杏林大学医学部付属病院呼吸器外科では他の施設と共同して、2010 年 1 月 1 日から 2010 年 12 月 31 日に原発性肺癌に対する治療目的で手術を行った患者さんたちの背景因子や術後の治療、そしてその後の経過を調べています。

具体的には、患者さんの年齢・性別・既往歴・術前病期・術式・病理診断・術後病期・術後合併症・予後を調べます。

日本国内の呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設からの集められたデータと合わせて解析を行います。

この研究で使用する臨床情報の中には、あなたのお名前やご連絡先などの情報は含まれません。そのため、データセンターに集められた情報からあなた個人が特定されることはありません。

この研究で使用する臨床情報の提供については、各提供施設の施設長の許可を得てから行われています。

この研究の結果は、学術雑誌や学会にて発表し、肺がん治療の進歩に役立てていくこととなりますが、公表する際にはあなたのお名前や個人を特定できる情報が使用されることはありません。

この研究に対して質問がありましたら外来の担当医もしくは研究代表者にお尋ね下さい。

研究代表者

杏林大学医学部付属病院 呼吸器外科

近藤晴彦